

## 平成28年度第1回平地域審議会会議録

- 1 開催日時 平成28年9月30日(金曜)午後6時30分から8時40分まで
- 2 開催場所 南砺市平行政センター 第2会議室
- 3 出席委員 9名 永森 常次 平本 和雄 坂本 勲 丘村 哲夫 長田 政哉  
南田 実 中村 義之 森 佐保子 折口 律子
- 4 欠席委員 5名 宮本 佳子 表 久義 長田 一政 水口 育子 吹上 都
- 5 市側出席者 市長 吉澤市民協働部長 米田ブランド戦略部長  
上口市長政策部担当部長 市川南砺市で暮らしません課長  
田野行革推進係長 平行政センター長 平行政センター次長
- 6 傍聴者 1名
- 7 協議議題
  - ① 南砺市文化芸術振興基本計画について
  - ② 南砺市山村振興計画について
  - ③ 庁舎再編に係る意見交換
- 8 その他
  - ① 空き家調査の概要について
  - ② 五箇山景観条例について
  - ③ 平若者センター条例の一部改正について

## 9 会議経過

### ○開会

司会(センター長)から開会の宣言を行う。

### ○会長あいさつ

永森会長あいさつ

### ○市長あいさつ

市長あいさつ

### ○協議議題

永森会長が議長となり、順次議事を進める。

(議長) 進行は議題ごとに質疑応答とすることを確認する。

議題1 南砺市文化芸術振興基本計画について資料説明を求める。

(米田部長) 自己紹介を兼ねて南砺市文化芸術振興基本計画概要版で説明を行う。計画策定の背景と現状と課題を分析し、基本方針と計画体系を定めたことを説明する。

(市長) この背景として五箇山のように民謡保存会が存続している地域ではなく、町の方で踊りや唄の担い手不足が深刻な地域を念頭に置いたものです。そのために地域間連携も応援することが必要となっている。

- (委員) 五箇山でも平高校郷土芸能部への地元高校からの進学が減っている。保存会でも担い手不足は深刻だ。少子化高齢化の解消が重要だ。
- (議長) 幸いに相倉では子どもが増えて獅子舞の担い手が育ってきてくれた。
- (委員) かつては民謡にプライドを持っていた訳ではなかったが今は誇りと自信を持ってきている。八尾などでもおわらにたいすのこだわりは大変なものだ。
- (市長) その意見のとおりで南砺市で伝統芸能や文化にこだわりを持ってもらうことが大切だ。
- (委員) その五箇山でも葬祭等の結いが薄れつつある。
- (議長) 次に南砺市山村振興計画について説明願います。
- (米田部長) 南砺市山村振興計画について概要版資料を用いて説明する。H27年改正で10年延長となった旨と管内の6つの指定地域を説明する。  
併せて山村活性化支援交付金制度について現況の取り組みを説明する。
- (市長) 同一地域で2度目のエントリーも可能か？
- (米田部長) それについては確認します。2度目はハードルは高くなると思います。
- (市長) いわゆる山振事業ですから複数回採択できるよう市としても取り組みたい。農政局にもPRしてゆきたい。
- (委員) 五箇山でも事業の候補を出してきたがハードルも高くチェックも厳しいようだ。
- (市長) 五箇山では既存の取り組みが始まっており順調に進められるのではないか。
- (委員) 薬草をテーマにすると薬事法との関係は大丈夫か。
- (委員) 今の取り組みには将来計画には薬草喫茶の夢もあるそうです。
- (市長) くろもじ茶でも薬事法には引っかからない。薬草の効能自体をうたう事は問題にはならない。

- (委員) 豊かな海づくり大会でも五箇山の間伐材の割り箸が採用された。来年も全国大会があるのでPRに努めてほしい。
- (市長) 割り箸でも海外輸入の製品は防腐剤の不安から国産間伐材割り箸は良い線を進んでいると聞いている。
- (議長) 次に庁舎再編に係る意見交換について説明願います。
- (上口部長) 本日は忌憚のない意見をお聞きしたいと思います。(説明資料をもちいて説明を行う)
- (議長) この庁舎再編に係る意見交換については出席の委員全員に発言を願います。
- (委員) クラスター方式をとった際に参考とした合併市は現在も分庁舎方式をとっているのか?
- (市長) そのことについては存じておりません。
- (委員) いずれにしても新設で統合庁舎にしてほしい。既存の行政センターの空き部屋は貸出をして有効活用を図ってほしい。  
人口減に税収減の先行きを考えますと速やかな統合庁舎の整備で話し合いを進めてほしい。  
新庁舎建設の財政的な体力はあると伺っておるがいかがか。
- (市長) かつてはその体力はあると考えた時期はあったかもしれませんが。ただ現状ではかならずしもそうではありません。がしかし必要であれば整備するものです。
- (委員) 統合庁舎にして欲しいのはやまやまですが、両平の小中学校統合でも苦慮しました。平高校への進学が減っているのも合併効果で通学バスが整備された事も一助になりました。  
個人的には新設で統合庁舎にしてほしい。
- (委員) 平野部での統合庁舎を整備する結論は出ているのではないか。五箇山からあれこれ言うべきことではないのではないか。
- (委員) 旧町時代の庁舎に手を入れるくらいなら多少高くついても新設庁舎整備が良いと思う。用地も新規に求めるべき。シンボル性のある新規庁舎を整備してほしい。十数億を十数年で割れば高い投資にならないか。街づくりとは別に考えてあくまで個人の意見です。

- (委員) 五箇山からの利便性は城端だが、現実案としては福光庁舎増強案が良いのではないか。
- (委員) 私も福光庁舎増強案がよいと思います。地理条件もよいと思います。コスト的にも優位だ。節減できるコストで他の用途に予算を振る事が可能となる。
- (委員) 立地は特定できないが既存庁舎改修しての統合庁舎が望ましいと思う。その反面各種手続き面の利便性から行政センターは今後も存続してほしい。行政センターが不便になるとこの地域に残る理由が希薄になる。
- (委員) 福光庁舎改修案が現実的だと理解できるが、新庁舎なら永く使用できるメリットもある。  
段階的に縮小できる庁舎整備を工夫できないか。不要となる現庁舎は取り壊すのか？
- (上口部長) 新規用途で譲渡できるならそうしたいが、基本的には面積は減らしてゆきたい。
- (委員) 全地域対象に非常に丁寧な説明をしていただき感謝したい。
- (市長) 議論の成り行き次第では非常にナーバスになりかねない問題であるので今は自分の意見表明は控え意見集約に専念したい。
- (委員) 他市で庁舎統合の進め方で地域間トラブルが生じた事例はないのか。
- (市長) そのような事例はあります。  
当然不要となる庁舎が発生するしその地域のまちづくりをどのように図ってゆくのかという宿題が残ります。
- (議長) 以上をもって審議議題は終わります。  
次にその他事項を説明願います。
- (松井センター長) それでは以降は私の方で司会進行します。  
空き家調査の概要を吉澤部長より説明願います。
- (吉澤部長) H24年度より管理不全空き家を調査し、H26年に適正空き家管理の指針を作りました。その後国の方で法制化が進みました。  
今回は空き家の具体的現況調査について区長さんの協力をお願いしたいという案件です。(以後詳細を説明)

- (松井センター長) 質疑応答を願います。
- (委員) 平地域においては行政センター職員が実地同行して調査した方が業務が捗ると思う。
- (吉澤部長) 良い意見をいただきありがとうございます。
- (市長) 良い意見をいただきありがとうございます。
- (松井センター長) 次に五箇山景観条例について説明をお願いします。
- (米田部長) 五箇山景観条例の策定までの流れと条例の目的を説明。景観条例で何が変わるかについての詳細は12月施行の五箇山景観計画で周知するとともに施工事業者向け説明会開催の意向である事を説明する。
- (市長) 五箇山の景観を保全するため一定の制約を課するというご理解ねがいます。
- (委員) 対象区域は五箇山全域か？
- (米田部長) そうです。
- (松井センター長) 次に平若者センター条例の一部改正について説明をお願いします。
- (城道センター次長) スポーツ指導員室を五箇山農業公社にお貸しすることと関連して、その代替としてこの会議室（第2会議室）を一般貸出する会議室とするものです。そのためスポーツ指導員室を条例から除去し新たにこの会議室を貸出会議室とする改正です。
- (松井センター長) この並びのガラス張りの部屋です。
- (委員) スポーツ指導員室は使えなくなるということか。
- (城道センター次長) そうです。五箇山農業公社より入居希望があったため貸出をするものです。そのためスポーツ指導員室の代わりにこの会議室を一般利用に供用するものです。
- (市長) 広い会議室を貸出するとなると利用料が高額となるようであれば何らかの配慮が必要でないか。

(委員) スポーツ指導員室は使い勝手の良い会議室ですのでその代替には従来とおりの配慮をお願いします。

(市長) 民間への貸出には、それによって従来の施設利用者に迷惑がかからないように配慮するようにさせます。

今後の庁舎は複合利用を促進するので現在の利用者にも配慮して進めてゆきます。

(松井センター長) すべての協議が終了しました。最後に会長より閉会をお願いします。

(議長) 閉会の宣言をする。